

KANSAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

Supported by
docomo

The 251st Subscription Concert

関西フィルハーモニー管弦楽団 第251回定期演奏会

KPO
Evolutionism
2013-Third Movement

ドヴォルザーク
Antonín Dvořák

チェロ協奏曲

ロ短調 作品104
Cello Concerto B minor Op.104

ヴォーン・ウィリアムズ
Ralph Vaughan Williams

ロンドン交響曲

(交響曲第2番)
A London Symphony (Symphony No.2)

※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

ウェストミンスター
の鐘

郷愁なるロンドン



指揮

藤岡 幸夫

(関西フィル首席指揮者)
FUJIOKA Sachio, Conductor

1962年生まれ。BBCフィル、マンチェスター室内管、日本フィルのポストを歴任。2006年「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビューし、ベスト・パフォーマンス賞。2009年「ナクソス島のアリアドネ」で再び大成功。2000年より関西フィル正指揮者、その後2007年4月より同首席指揮者に就任。渡邊曉雄氏の最後の愛弟子。2002年度渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。
公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>
Twitterアカウント @sacchi0608

© SHIN YAMAGISHI

2013

10.17

木 19:00開演(18:00開場)

18:40～ 指揮：藤岡 幸夫によるプレトーク開催!

ザ・シンフォニーホール

(JR 大阪環状線「福島駅」下車北へ徒歩約7分)

2013
6.12
発売



S席:¥5,000 A席:¥4,000
B席:¥3,000 学生席:¥1,000
(全席指定・消費税込)

※学生席は関西フィル事務局でのみご予約承ります。

特定非営利活動法人
主催：関西フィルハーモニー管弦楽団
後援：朝日新聞社／朝日放送
朝日友の会／MBS
大阪ドイツ文化センター



チェロ
パヴェル・ゴムツィアコフ

Pavel Gornziakov, Cello

1975年ロシア生まれ。9歳よりチェロを学び、グネシニン国立アカデミーに入学。その後、モスクワ音楽院でミレーレに、マドリッド音楽院でシャコフスカヤに、その後パリ国立音楽院でミュラーに師事。ソリスト、室内楽奏者として活発な活動を展開。特にピリスとはヨーロッパ各地、南米、日本で多数共演。2010年シカゴ交響楽団定期でアメリカデビュー、絶賛を博す。
ジルバー財団からの賞与により、ベルナルデル＝ベルが1865年パリで製作したチェロを使用。

Ugo Ponte © onl

◎ご予約・お問合せ 関西フィルハーモニー管弦楽団：06-6577-1381
URL <http://www.kansaiphil.jp/> e-mail kpo1982@kansaiphil.jp
ABCチケットセンター：06-6453-6000
(ザ・シンフォニーホール内)
チケットぴあ[Pコード:181-232]:0570-02-9999
ローソンチケット[Lコード:51461]:0570-000-407

*乳幼児、未就学児のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

平成25年度文化芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)

特別協賛：ダイキン工業株式会社

協賛：株式会社 三晃空調

協賛：docomo

『イギリスに住んでいた頃を最近懐かしんでいる。

以前には気付かなかったヴォーン・ウィリアムズの魅力に、いま心を奪われている。彼のシンフォニーのスコアにどっぷり浸かる毎日だ。』(藤岡 幸夫)

若き日の海外修行をイギリスで過ごした藤岡。彼にとっては第二の故郷と言えるだろう。

英国音楽へも格別な思い入れを持つ藤岡が、気品あふれる作風で高い人気を誇るヴォーン・ウィリアムズの魅力に迫る。

藤岡とパヴェルの初共演は2011年春。一瞬でその才能に惚れ込んだ藤岡は再共演を熱望。

ようやく実現するその舞台上で選ばれたナンバーは、ドヴォルザークの永遠の名曲だ!

URL <http://www.kansaiphil.jp/>

